



新病院建設News

No.7



医療センターでは建て替えの計画を進めています。新病院の計画は、医療センターで抱えている問題や新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ、医師や看護師など病院スタッフで議論を重ねたもので、これまで以上に市民の皆さんの命を守っていくことができるものとなっています。

新病院建設Newsでは、この新病院の計画や医療センターが担う機能や役割などをお伝えしています。 院長 丸山 尚嗣

今回の内容

災害拠点病院の役割

医療センターの機能や役割の一つとして、「災害医療」があります。第2号で簡単な説明をさせていただきましたが、今回は、医療センターが指定されている「地域災害拠点病院」について詳しく説明するほか、船橋市の災害時の医療体制についても説明していきます。

災害拠点病院とは...

災害時に多く発生する重篤救急患者の救命医療を行うための病院であり、災害時における医療の最前線となる病院です。役割としては、重症・重篤な傷病者の受入れや広域医療搬送の支援、局地災害時の医療救護班の派遣等があります。

医療センターは、平成8年8月に、千葉県から東葛南部地域では初めて「地域災害拠点病院」の指定を受けました。（※東京歯科大学市川総合病院と同時指定）

医療センターのほかもあるの？

千葉県では、27病院が災害拠点病院として指定されています（令和5年3月1日現在）。このうち「基幹災害拠点病院」は4病院、「地域災害拠点病院」は23病院となっています。

また、船橋市が含まれる東葛南部保健医療圏では、6病院が「地域災害拠点病院」として指定されています。



東葛南部保健医療圏の地域災害拠点病院

- ① 船橋市立医療センター
- ② 東京歯科大学市川総合病院
- ③ 順天堂大学医学部附属浦安病院
- ④ 東京女子医科大学附属八千代医療センター
- ⑤ 東京ベイ・浦安市川医療センター
- ⑥ 千葉県済生会習志野病院

災害拠点病院の指定要件

- 国により、「運営」と「施設及び構造」について要件が定められています。以下に簡単にご紹介します。詳しくは「災害拠点病院指定要件(最終改正 医政発0228第1号令和5年2月28日)」をご覧ください。

運営体制

- ・24時間いつでも災害に対する緊急対応ができ、傷病者の受入れ・搬出が可能な体制を有する。
- ・被災地からの傷病者の受入れ拠点になる。
- ・ヘリコプターによる傷病者、医療物資等のピストン輸送を行える機能がある。
- ・災害派遣医療チーム（DMAT）を保有し、その派遣体制がある。
- ・救命救急センター又は二次救急医療機関である。
- ・地域の二次救急医療機関等とともに定期的な訓練を実施している。 など。

施設及び構造

- ・診療機能を有する施設は耐震構造である。
- ・通常時の6割程度の発電容量のある自家発電設備等を保有し、3日分程度の燃料を確保する。
- ・少なくとも3日分の水を確保する。
- ・衛星電話を保有し、衛星回線インターネットが利用できる。
- ・食料、飲料水、医薬品等について、3日分程度を備蓄する。
- ・原則として敷地内にヘリコプターの離着陸場を有する。 など。

DMAT（災害派遣医療チーム）とは...

災害の発生後概ね48時間以内に活動を開始できる機動性を持った医療チームで、医師1名、看護師2名、業務調整員1名の計4名を基本構成とし活動します。千葉県ではDMATの派遣体制が整っている病院を「DMAT指定医療機関」として指定しています。

どんな活動をするの？

DMATの活動は、医療を提供する以外に、現地での情報収集や物資調達、施設・機材の管理など、幅広い業務を担当します。専門的な研修を積んだ統括DMATが、被災の状況を把握しながらDMAT隊全体をまとめ、協力して医療支援を行うための体制作りを行います。

医療センターにもDMATはあるの？

医療センターでは、DMATが3チーム(17名、うち2名は統括DMAT)※あり、これまで被災地からの要請を受けて現場に出動してきました。

令和元年に台風15号が千葉県を直撃した際には、船橋市は被災を免れたため、被害の深刻だった地域にDMATと災害派遣ナースを派遣しました。また、令和2年2月には、新型コロナウイルス発生により武漢からの帰国者に対する健康管理等のために、受入れを行った税関研修所へDMATを派遣しました。

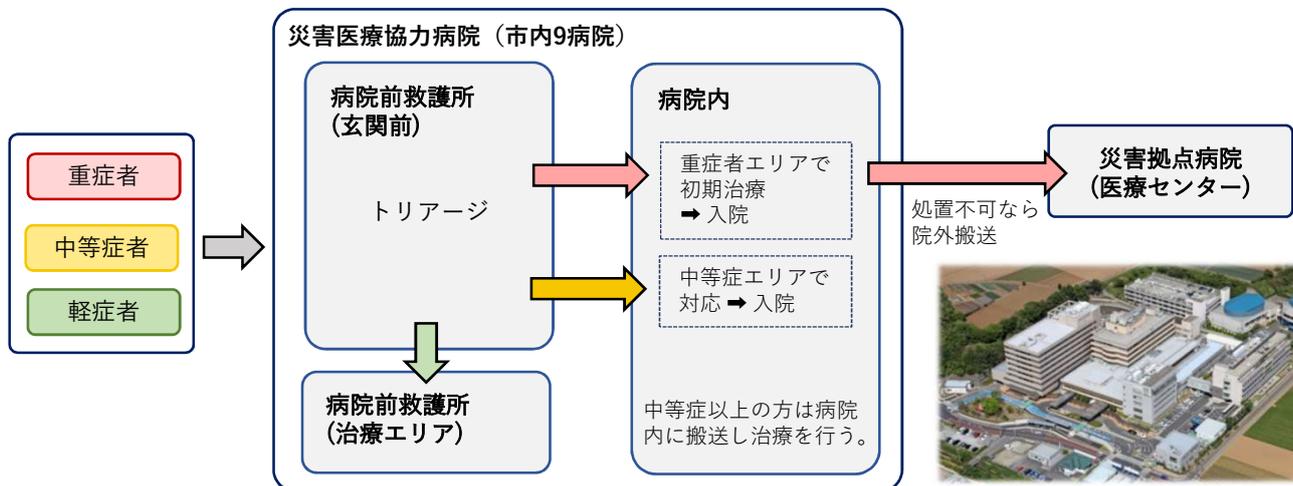
※ Chiba Limited DMAT含む



船橋市の災害医療体制

医療センターの災害拠点病院としての機能・役割を説明してきましたが、災害時に市民のみなさまの命を守っていくためには、医療センターだけでなく行政や他の医療機関との連携が欠かせません。

船橋市では、医師会をはじめとする医療関係団体と協議し、超急性期（発災後、概ね48時間以内）の医療体制を下図のように定めています。医療センターは、生命の危険の可能性がある又は生命の危険が切迫している患者さんを受入れる役割を担います。詳しくは船橋市のホームページをご覧ください。



トリアージってなに？

大規模災害時など多くの傷病者が発生した場合に、薬や設備、人が限られた医療現場でより多くの人を助けるために、傷病者の緊急性や重症度に応じて治療の優先順位を決めていくことをトリアージと言います。

船橋市では、市内で震度6弱以上を観測または必要性が認められた場合には、市内9か所の災害医療協力病院前に「病院前救護所」が設置されます。

ここで、自力で歩行が可能か、また、呼吸・循環・意識の状態を迅速に評価し、治療の優先順位を判断します。

直接医療センターに行ってはダメなの？

過去の大きな災害において、症状の軽い方が病院へ殺到し、重症者などへの適切な治療ができず亡くなってしまう、「防ぎ得た災害死(医療が適切に介入すれば避けられた可能性のある災害死)」が発生しました。

多くの傷病者にとって最良の医療を提供するため、市内災害医療協力病院前の救護所でトリアージを行い、救護所の治療エリアでの処置とするか、病院内へ搬送しての集中的な医療が必要かを判別し、症状に応じた適切な医療を提供します。また、重症者については必要に応じて、より高度な治療を行う医療センターなどへ搬送します。

いつ起こるかわからない災害に備えて...

船橋市を含む東葛南部エリアは、人口が多く住宅も密集しており、広範囲にわたる大規模災害が発生した場合には、甚大な被害が予想されます。このため、平時から災害を想定した訓練を定期的を実施し、災害への意識を高めておくことが必要です。

医療センターでは、毎年、市をはじめとする行政機関、医師会、二次救急医療機関である市内災害医療協力病院、市立看護学校と合同で防災訓練を行っています。また、DMAT訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練を行っています。さらに、災害が発生した時に病院にいるスタッフがすぐに動けるよう、マニュアルの作成にも力を入れています。



写真：防災訓練の様子

移転後もこの機能・役割を発揮するために...

- 新病院移転後も、引き続き災害拠点病院として、必要な施設・設備を整備するほか、免震構造の採用や地盤改良を実施するなど、災害時でも医療を継続できる計画としています。

免震構造の採用

病院本棟については免震構造を採用します。免震構造とは、建物と地盤を切り離し、その間に、免震装置を組み込んだ構造です。これにより、地震の力が建物に伝わりにくくなります。また、揺れもガタガタと激しい揺れではなく、ゆったりとした揺れになります。このため、建物が受けるダメージが少なく、医療スタッフや患者さんへの被害を最小限に抑えられるとともに、医療業務に欠かせない様々な機器が転倒して破損するといった事態からも守ることができます。

災害医療を想定した計画

医療センターに搬送された方等のトリアージエリア、災害対策本部など災害医療体制を考慮した計画とします。また、傷病者対応を想定するエリアには、医療ガス及び非常用電源を設置します。

災害拠点病院として必要な施設・設備の整備

非常用発電機の設置やヘリポートの整備など、指定要件に定められた施設・設備を整備します。

水害への対応

移転予定地は、公表されている浸水ハザードマップでは0.5m～3.0mの浸水予測となっていますが、新病院建設の中で、新病院が建つ敷地を浸水予測より高くするという対策を行い、想定最大規模の降雨でも浸水しないようにする計画としています。また、新病院へのアクセスについては、新病院の東側に整備される道路が浸水・液状化ともにハザードエリア対象外になっていますので、救急車出入口が使用できなくなったときは、この道路を使用する想定です。各方向から病院へアクセスできるように、出入口は複数計画しています。

液状化対策の実施

新病院では、大きな地震が起こった場合でも、病院としての機能を維持できるように、液状化対策を目的とした地盤改良を行います。液状化対策は、主要な建物の下や救急車両が通る通路などに行います。これにより、無理のない建物構造にすることや、大きな地震が起きた際でも、液状化による陥没や大きなひび割れにより、救急車の通行や災害医療の支障になることを防ぐことができます。

次号のテーマは「医療センターにおける新型コロナウイルス対応」を予定しています。

- 発行年月日/令和5年11月9日
 - 編集/病院局新病院建設室
- 〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎ 047-438-3321 (代)

